

KVK 通信

2023夏号

Creating Value with You

お客様とともに“快適な水まわり”を創造する。





代表取締役社長 末松 正幸

～安定的な収益体質の実現をめざして～

KVKグループは、様々な外部環境の変化のなかであっても、安定的に収益が確保できる体制の確立に取り組んでいます。

その取り組みと今後の方針などについて、

社長の末松正幸がご説明します。

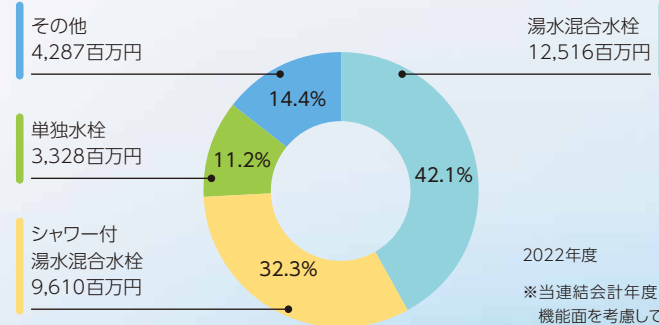
当期を振り返って

当期の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限が徐々に緩和され経済活動の正常化が進む一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰や円安による物価高等の影響が続いており、依然として先行き不透明な状況で推移しました。住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数に関し、持家については引き続き弱含みで推移する一方、貸家および分譲住宅は堅調に推移しており、総じて底堅い状況が続いております。そのようななか売上高は、10月からの製品価格の段階的な値上げによる効果および住宅リフォーム需要が堅調に業績に寄与したことから、4期

連続増収且つ過去最高を更新する29,742百万円(前期比6.4%増)となりました。利益面は、依然として原材料価格の高止まりおよび物価の上昇による仕入コスト増加もありますが、10月からの値上げにより粗利率が改善されつつあり、営業利益は2,450百万円(前期比0.4%増)、経常利益は2,615百万円(前期比7.2%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、1,773百万円(前期比5.0%増)となりました。

引き続き主力事業の収益力向上に取り組み、持続的成長と高収益体質の実現をめざしてまいります。

品目別売上高構成比



中期経営計画「Innovation for 2022」を振り返って

当期を最終年度とする中期経営計画を振り返りますと、当初の計画では3年後の2023年3月期に売上高255億円、営業利益率10%、ROE10%を目標としていましたが、売上高に関しては中期経営計画2年目にあたる2022年3月期に達成致しました。一方、営業利益率およびROEに関しては、1年目の2021年3月期に達成したものの、急激な原材料価格の高騰や円安傾向による製造コスト増加により2年目、3年目は未達成となりました。新型コロナウ

イルス感染症の世界的流行やロシア・ウクライナ情勢等、想定外の予期せぬ外部環境に大きく影響を受けた3年間となりました。そのようななか2024年3月期から3か年の新中期経営計画がスタート致します。依然として経営環境は厳しい状況が続きますが、目標を必ず達成させるという強い信念を持ち、グループ一丸となって重点課題に取り組んでまいります。

高効率な生産体制づくり

受注から生産、出荷まで全工程にわたる一貫生産体制のもと各工程間を有機的につなげ、また、製造工程自動化に取り組み、一層の効率化を図っております。工場の自動化の一環として主力製品の生産ラインの自動化を進め、徐々に稼働率が上がり原価低減に寄与しています。受注から調達・生産・出荷・納品まで全工程に亘り各部門が連携し、お客様の手元へ“さらにタイミングよく”お届けできる高効率な生産体制づくりを進めてまいります。

また、次なる成長に向けた取り組みとして、本社工場敷地内に新工場棟2棟が完成しました。2023年冬の本格稼働に向けて設備の搬入、設置を計画的に進め、生産能力のさらなる向上を図ります。また、コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルが稼働し始

め、エネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減により、コストと環境の両面に寄与します。



コージェネレーションシステム



造成工事

キッチン用センサー水栓ラインアップ拡充

新型コロナウイルス感染拡大の長期化による影響で衛生に対する意識が高まり、水栓への接触を最小限に抑えたいという要望を受け、手をかざすだけで水を出し止めることができるセンサー式水栓の需要が高まっています。キッチン用においては、グースネック形状の吐水口、側面レバーハンドルを採用した水栓においてセンサー式の展開をしましたが、新たに上面レバーハンドルタイプの水栓にもセンサー仕様を設定しました。オーソドックスな形状の水栓で多くのキッチンに違和感なく使用でき、センサー式グースネック水栓よりもお求めやすい価格設定であることから、より多くのユーザーに満足していただけるものと思います。また、AC100V仕様と電池仕様があり、電池仕様であればコンセントの無い場所でも設置可能で、新

築だけでなくリフォーム需要にも対応しています。これからもお客様の声を活かした製品づくりに努め、お客様の期待を超える商品やサービスを生み出し続けていきたいと考えています。



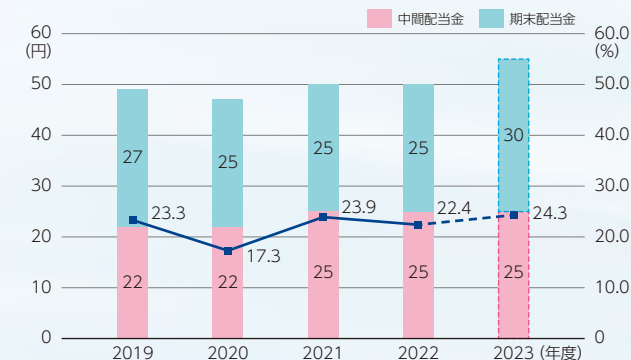
株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、次なる成長への投資に必要な内部留保などを勘案しつつ、業績に応じて株主還元に充てることを利益配分の基本的な考え方としております。

配当につきましては当期の業績を鑑みて、1株当たり25円の間配当に、期末配当25円と合わせ年間で50円とさせていただきます。2023年度はKVK創業85周年を向かえる年であり通常配当に記念配当5円を予定しております。

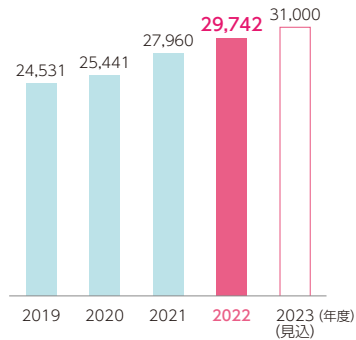
今後とも社員一同、社業に邁進し、安定的な収益体質の実現をめざしてまいりますので、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金/連結配当性向の推移

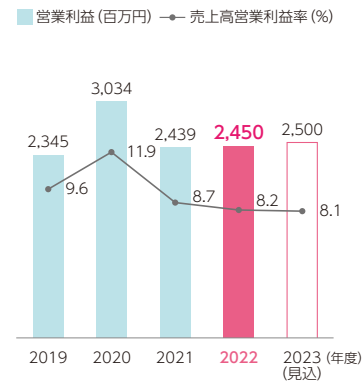


※2019年度は大連北村閘門有限公司設立30周年記念配当5円を含みます。
 ※2023年度(見込)はKVK創業85周年記念配当5円を含みます。

売上高 (百万円)

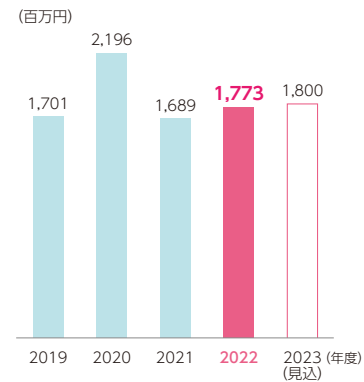


営業利益・売上高営業利益率

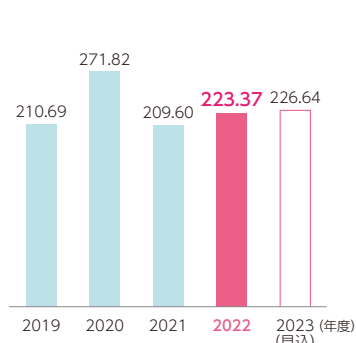


※売上高営業利益率=営業利益/売上高×100

親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

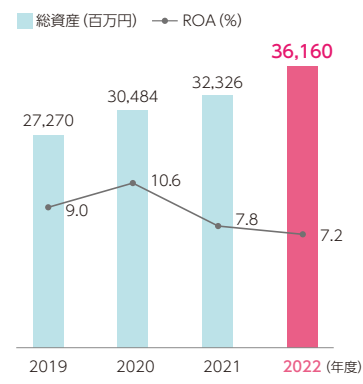


1株当たり当期純利益 (EPS) (円)



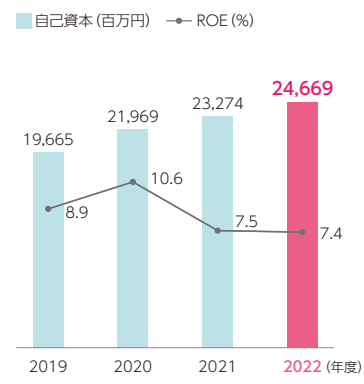
※期中平均発行済株式総数(自己株式数除く)で算出しています。

総資産・使用総資本事業利益率 (ROA)



※使用総資本事業利益率 (ROA) = (営業利益+受取利息及び配当金) / 総資産 (期中平均) × 100

自己資本・自己資本当期純利益率 (ROE)



※自己資本当期純利益率 (ROE) = 当期純利益 / 自己資本 (期中平均) × 100 (自己資本=純資産-非配当株主持分-新株予約権)

売上高

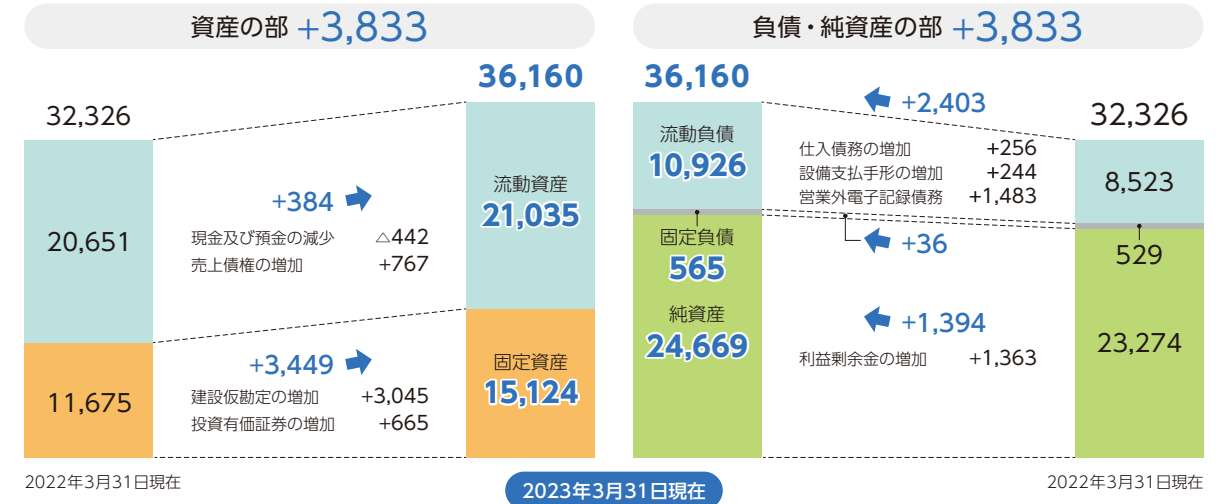
10月からの製品価格の値上げによる効果および住宅リフォーム需要が堅調に推移し、前期に比べ1,782百万円増加し、29,742百万円となりました。

営業利益

原材料価格の高止まりや物価の上昇による仕入コスト増加もありますが、10月からの値上げにより粗利率が改善されつつあり、前期に比べ10百万円増加し、2,450百万円となりました。

※見直しに関する注意事項：業績の見直しは現時点での予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。様々な要因により、変動する可能性があります。※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。 ※百分率 (%) は小数点第二位を四捨五入して表示しています。

連結貸借対照表の概要 (百万円)



2022年3月31日現在

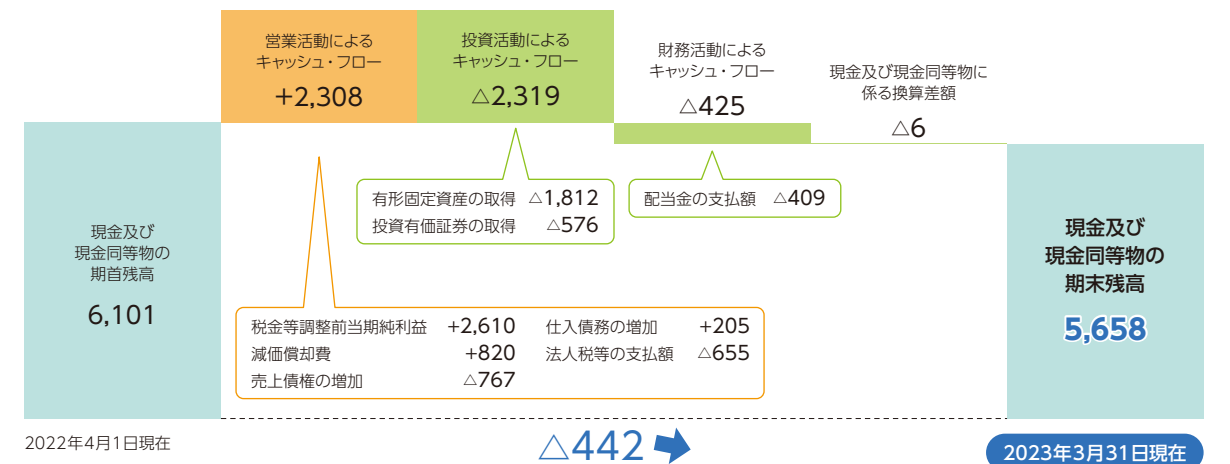
2023年3月31日現在

2022年3月31日現在

流動資産・流動負債/純資産の部

流動比率は、前期末に比べ、49.8ポイント減少し、192.5%となりました。自己資本比率は、前期末に比べ、3.8ポイント減少し、68.2%となりました。1株当たり純資産額は、前期末に比べ、173円13銭増加し、3,106円13銭となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



2022年4月1日現在

△442

2023年3月31日現在

※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

シングルシャワー付 混合栓〈センサー付〉

新発売



KM5021TAEC

開発の経緯・背景

- 「水栓への接触を最小限に抑えたい」というニーズが高まっている
- センサー水栓の市場の底上げにつなげたい

一般グレード向けのセンサー水栓を開発

商品の特長

手をかざしてカンタン出し止め

- レバーを触らず、手をかざすだけで吐水と止水ができるため、手が汚れていてもレバーを操作することができます。



多彩な機能を搭載 ※従来のKM5021シリーズと同様です。

●快適NSFシャワー

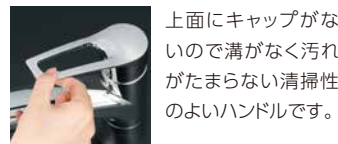


●回転シャワーヘッド



シャワーヘッドが取
まった状態で360°回
転します。

●金属製リングハンドル



上面にキャップがな
いので溝がなく汚れ
がたまらない清掃性
のよいハンドルです。

選べるACタイプと電池タイプ

- ACタイプと電池タイプの2種類のタイプがあるため、様々なキッチンに対応することができます。

VOICE

開発の声



開発部設計二課
係長 佐藤 大介

アピール
ポイント

今までのセンサー水栓は中高級グレードしかありませんでしたが、一般グレード向けのセンサー水栓を開発したことで、より多くのユーザーの「水栓への接触を最小限にしたい」というニーズを満たすことができるようになりました。また、ACタイプと電池タイプの2種類のタイプがあり、省スペースでも設置可能なため、様々なキッチン空間に設置できます。

こだわった点

センサー水栓というと、電子部品が搭載されており、メンテナンスが難しいというイメージがありますが、構造をできるだけ簡素化し、交換しやすい構造にしてメンテナンス性を高めることにこだわりました。

苦労した点

開発する時にセンサーユニットを吐水口内側の溝に嵌める構造とされていますが、組付けやすさとメンテナンス性の両方を考慮すると、組付ける部分の寸法調整を行う必要性があり、寸法調整を行うことに苦労しました。

レバー式立水栓

2023年度
順次発売



KL180D12

開発の経緯・背景

- コロナの影響で手洗いによる衛生管理が注目され、手を洗う機会が増えている
- 玄関等の見える手洗い場が増えており、水栓により高いデザイン性が求められている
- 様々な手洗い器（手洗い鉢）に合わせやすいデザインにし、お客様の選択の幅を広げたい

より様々な空間に合わせやすい手洗い水栓の製品化

商品の特長

豊富なバリエーション

- 4種類の高さのバリエーションと3色（めっき、マットブラック、マットホワイト）のカラーバリエーションがあるため、様々な手洗い器やシーンに合わせることができます。



マット調で高級感のある直線的なデザイン

- 従来のLFK612より吐水口、レバーハンドルに統一感がある直線的なデザインです。また、マット調で高級感があるため、高級感のある空間にすることができます。

操作レバー90°開閉

- 操作レバーが90°開閉のため、少ない動きで吐水・止水をすることができます。

VOICE

営業の声



営業推進部営業企画課
副主任 足立 一樹

アピール
ポイント

LFK612のレバーを共有したことで、より早く、より少ない投資で市場に出すことができました。水栓本体の高さのバリエーションが豊富なため、スクエアなデザイン等の様々な手洗い器に合わせやすいです。また、カラーバリエーションも豊富なため、様々なニーズに対応することができます。さらに、従来の立水栓よりも吐水空間が広く、マット調のため、スッキリとしたスタイリッシュで高級感のある空間を作ることができます。近年のコロナ禍で玄関に水栓を設置される方が増えていますが、玄関等の洗面以外の場所の設置にも合わせやすいデザインです。定流量弁が入っていることで設置場所によって水圧の影響を受けにくく、様々な場所で使用することができます。

会社概要

2023年3月31日現在

商号	株式会社KVK KVK CORPORATION
創業	1939年2月5日
設立	1949年1月25日
資本金	28億 5,493万 4千円
主要営業品目	1. 水栓金具 サーモスタット式シャワー・湯水混合水栓 シングルレバー式シャワー・湯水混合水栓 定量止水付サーモスタット式シャワー・湯水混合水栓 2. ハンドル式シャワー・湯水混合水栓 洗髪シャワー、単独水栓、自動水栓 3. 継手、排水金具 水栓部品
本社	岐阜県加茂郡富加町高畑字稲荷641番地 〒501-3304 Tel (0574) 55-1120
工場	本社・飛騨古川
支社	東北・関東・関西・西日本
営業所	札幌・盛岡・仙台・宇都宮・さいたま・千葉・東京・東京特需・横浜・多摩・名古屋・大阪・大阪特需・岡山・広島・福岡・鹿児島
出張所	つくば・新潟・静岡・北陸・京滋・神戸
従業員数	823名(1,283名)
子会社	大連北村閩門有限公司(中国)・KVK PHILIPPINES, INC.
役員	代表取締役社長 末松 正幸 取締役 坪田 充夫 取締役 長濱 卓美 取締役 北川 喜一 取締役 竹中 智 取締役 須藤 崇宏 取締役(社外) 奥田 真之 取締役(社外) 山田 晋也 常勤監査役 恒川 哲也 監査役(社外) 杉浦 勝美 監査役(社外) 森 裕之

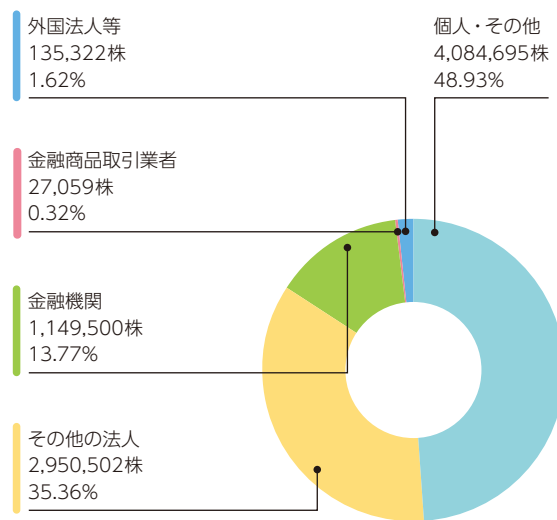
(注) 1. 単独の従業員数には、当社から他社への出向者を除いています。また、連結・単独の従業員数には、臨時社員を含めています。
2. すべての社外取締役および社外監査役を国内の金融商品取引所が定める独立役員として指定しています。

株式の状況

2023年3月31日現在

株式の総数	発行可能株式総数	23,120,500株
	発行済株式の総数	8,347,078株
株主数	1,476名	
大株主	株主名	持株数(百株) 持株比率(%)
	有限会社北村興産	11,324 13.81
	KVK取引先持株会	5,329 6.50
	株式会社十六銀行	4,000 4.88
	岐阜信用金庫	2,935 3.58
	北村博志	2,895 3.53
	北村嘉弘	2,855 3.48
	末松容子	2,785 3.39
	元気なぎふ応援基金	2,695 3.28
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,546 3.10
	KVK従業員持株会	2,343 2.85

所有者別株式分布状況



(注) 1. 大株主の持株比率は、自己株式(150,394株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
2. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は254,600株であり、役員向け株式交付信託が保有する当社株式228,000株、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式26,600株が含まれています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日(その他必要のある場合は、あらかじめ公告した日)
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ※掲載先インターネットホームページ https://www.kvk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお問い合わせ先

株主様の住所変更、買取請求など各種お手続きの窓口につきましては、株式のご所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

株式のご所有状況	お問い合わせ先
証券会社等の口座をご利用の場合	お取引口座のある証券会社等
「特別口座」に記録されている場合	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 Tel : 0120-782-031 (通話料無料)

※支払期間経過後の配当金に関するお問い合わせは、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

株主優待制度のご案内

2023年3月31日現在の株主名簿に記載された5単元(500株)以上保有の株主様

優待内容

所有株式数500株以上

● 3,000円相当の入浴用品



所有株式数1,000株以上

● 3,000円相当の入浴用品

+

当社製品を優待価格でご提供※



※2023年度優待価格対象製品(1,000株以上対象)

撥水



浴室

サーモスタート式シャワー
(eシャワーNf 撥水膜コーティング)

KF800THS

撥水



キッチン

シングルレバー式シャワー付
混合栓(撥水膜コーティング)

KM6061ECHS

撥水



キッチン

シングルレバー式シャワー付
混合栓(撥水膜コーティング)

KM5021TECHS



シャワーヘッド

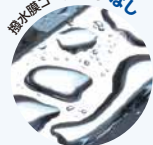
hadamo ウルトラ
ファインバブルシャワーヘッド

PZS370

撥水テクノロジー

いつでも
ピカピカ

撥水膜コーティングなし



撥水膜コーティングあり



撥水膜コーティングが水を弾くから、
ボディや吐水口などに水アカや汚れが付着しにくい!

お手入れ
ラクラク

撥水膜コーティングなし



撥水膜コーティングあり



水アカや汚れがついても、サッとキレイに拭き取れるから
お掃除もカンタン! ※水栓のふき掃除を適度に行ってください。

サッと
キラキラ

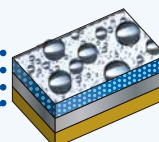
撥水膜コーティング

水をはじく撥水効果

特殊コーティング面

メッキ面

水栓素地



撥水膜コーティングの耐久性は、
1万回の拭き取りテストで証明済み。輝き長持ち! ※自社実験

hadamo®

3種類のシャワー吐水を搭載
すべてファインバブルが
発生します。

ミストシャワー



スポットシャワー



レギュラーシャワー



株式会社KVK



証券コード 6484

本社 〒501-3304 岐阜県加茂郡富加町高畑字稻荷641番地
Tel (0574) 55-1120 (代表)
株主事務: Tel (0574) 55-0005
URL <https://www.kvk.co.jp/>



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。